

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

当院における胆管癌の内科的治療

2. 研究の対象患者

旭中央病院を受診し胆管癌と診断された患者さんで、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さんを対象とする。

1. 選択基準

- 1) 胆管癌と診断された患者さん
- 2) 年齢不問
- 3) 性別不問

2. 除外基準

- 1) 研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2012年1月1日～2023年12月31日

4. 研究の概要

胆管癌では胆汁の排泄障害が起こるため、閉塞性黄疸や胆管炎といった症状が認められ、日本では、1年に約2万人が胆道癌を発症し、約1万8千人が死亡している。

胆道癌の治療は基本的には手術が第一選択となる。手術前に閉塞性黄疸や胆管炎が認められる場合は、ERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)を行い、胆管の閉塞部に胆管ステントを挿入し、胆道ドレナージ(胆管にたまった胆汁を排出)を行う。

今回は当院での12年間のカルテレビューを行い当院における胆管癌の予後や肝門部胆管癌のステント治療の成績について集計し公表することで胆管癌に関する知識の普及を試みる。

5. 研究実施予定期間

2023年11月22日～2024年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、発症部位(肝内か肝外か)、ステージ、予後、治療方法(内視鏡的手術、外科的手術、化学療法)、肝門部胆管癌のステント治療実施後の開存の有無

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果は研究対象者(又は代諾者)個々には開示しない。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・ 研究責任者： 消化器内科 志村謙次

- ・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)